

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	アート・デザイン専門 ・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究(アート・デザイン専門)	工藤 礼二郎 鈴木吐志哉 室井公美子 田中北斗 岡山拓史	～16単位 408時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
<b>【講義概要】</b>			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p> <p>鈴木吐志哉:1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめぎ-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。</p> <p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシップ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展」東京造形大学大学院修士論文・修了制作展「ZOKEI賞」、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。</p> <p>田中北斗:1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)</p> <p>岡山 拓史:1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	アート・デザイン専門 ・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	修了制作	工藤 礼二郎 鈴木吐志哉 室井公美子 田中北斗 岡山拓史	16単位 408時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
<b>【講義概要】</b>			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p> <p>鈴木吐志哉:1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。</p> <p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシップ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。</p> <p>田中北斗:1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)</p> <p>岡山 拓史:1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本語A(美術進学)	中田真梨子	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
この授業では、日本語の会話力の向上を目指します。			
<b>【講義概要】</b>			
<p>この授業では、文化／芸術／エンターテインメント／社会問題にかんする異なる2つのテーマについて日本語で考え、会話をします。</p> <p>以下の①②③④⑤を2セット行い、日常会話で役に立つフレーズ／語彙を身につけ、日本語の口語能力を鍛えます。</p> <p>① テキスト／映像資料によるテーマの発表、フレーズ／語彙の解説(20分)</p> <p>② 各自、テーマにかんするリサーチ(10分)</p> <p>③ プレインストーミング(15分)</p> <p>④ 各自、テーマにかんするスピーチの準備(15分)</p> <p>⑤ 2分間スピーチ、講師からのフィードバック(30分)</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	模擬試験		
6	講義		
7	講義		
8	模擬試験		
9	試験対策		
10	試験対策		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	試験対策		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2／3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大英語」を担当。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本語B(美術進学)	メロス言語学院講師	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>テーマに沿って、且つ他者の意見も踏まえて、自分の考えや経験などを適切な日本語でわかりやすく語れることを目指します。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>各回で定められたテーマに沿った会話活動を行います。必要に応じ、日本事情・周辺知識にも触れていきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	中間試験		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	中間試験		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
17	試験		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部(1年制)	2025年度	美術進学・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	伝達力(美術進学)	平野元起	4単位 102時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
1.自身の研究テーマや進学目的を明確に説明できるようになる。 2.論理的で説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 3.質疑応答やディスカッションにおいて、適切な言葉で応答できるようになる。 4.自己表現力とコミュニケーション能力を向上させる。			
<b>【講義概要】</b>			
1.個別進学指導 -研究テーマや小論文のテーマの深堀り -講師との対話を通じた論理的思考の強化 -プレゼンテーションの構成と表現方法の練習 2.伝達力トレーニング -自身の考えや経験を言葉で明確に表現する練習 -簡潔かつ効果的な説明の仕方 -質疑応答への対応力向上 3.振り返りと改善 -毎回のセッション後にフィードバックを行い、改善点を明確化 -録音やメモを活用した自己評価			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	個別ディスカッション
2	研究計画書指導	19	個別ディスカッション
3	小論文指導	20	個別ディスカッション
4	面接対策	21	個別ディスカッション
5	個別指導	22	個別ディスカッション
6	個別指導	23	個別ディスカッション
7	研究計画書発表	24	個別ディスカッション
8	小論文添削	25	個別ディスカッション
9	模擬面接	26	個別ディスカッション
10	模擬面接	27	面接対策
11	個別指導	28	面接対策
12	個別指導	29	面接対策
13	進学希望大学別対策	30	個別発表
14	進学希望大学別対策	31	個別発表
15	進学希望大学別対策	32	個別発表
16	ポートフォリオ作成	33	個別発表
17	ポートフォリオ作成	34	総評
<b>【成績評価方法】</b>			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1966年 東京都生まれ。1991年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。同年 第46回行動美術展初入選。 以降毎年出品。1993年 ギャラリーNWハウス。2002年、2007年 なびす画廊。2009年 SAN-AI GALLERY。行動美術協会 彫刻部会員。日本美術家連盟会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部(1年制)	2025年度	美術進学課程 前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	表現演習(美術進学)	蔣 燕萍	6単位 153時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 進学目的の明確化</li> <li>✓ 自己理解・適性分析力向上</li> <li>✓ ストレスマネジメント能力習得</li> <li>✓ 自己PR力強化</li> </ul>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>1.【個別進学ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-進学動機・キャリアビジョンの深堀り</li> <li>-学力・語学力・研究背景の現状分析</li> <li>-メンタルサポート: 進学不安・文化差ストレスの傾聴</li> </ul> <p>2.【オーダーメイド計画作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-学習計画&amp;メンタルサポート計画の併記</li> <li>-出願スケジュール管理(リマインド含む)</li> </ul> <p>3.【進学情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-志望校の特徴・合格事例紹介</li> <li>-奨学金・留学生サポート情報</li> </ul> <p>4.【書類チェック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-願書/研究計画書の一貫性チェック</li> </ul>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信	18	情報発信・個別面談
2	課外授業	19	情報発信・個別面談
3	情報発信・個別面談	20	課外授業
4	情報発信	21	情報発信・個別面談
5	情報発信・個別面談	22	情報発信・個別面談
6	情報発信・個別面談	23	情報発信・個別面談
7	課外授業	24	課外授業
8	情報発信・個別面談	25	情報発信・個別面談
9	課外授業	~30	課外授業
10	情報発信・個別面談	~35	情報発信・個別面談
11	情報発信・個別面談	~40	情報発信・個別面談
12	課外授業	~45	情報発信・個別面談
13	情報発信・個別面談	~50	情報発信・個別面談
14	情報発信・個別面談	51	まとめ
15	情報発信・個別面談		
16	課外授業		
17	情報発信・個別面談		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイテム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学課程・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	文章表現(美術進学)	中田真梨子	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
この授業では、研究計画書／小論文／願書などで用いられる学術的な日本語の書き方を学び、読み手に伝わる文章を書くことを目指します。			
<b>【講義概要】</b>			
講師による講義、研究計画書／小論文／願書の作成、講師による日本語の添削			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	研究計画書作成		
5	研究計画書作成		
6	研究計画書添削		
7	講義		
8	小論文作成		
9	小論文作成		
10	小論文添削		
11	講義		
12	願書指導		
13	願書指導添削		
14	個別指導		
15	願書指導		
16	願書指導		
17	願書指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。			
学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいど一ぱた美術学院で「多摩美大英語」を担当。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 絵画専攻分野・前期／ 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画総合研究ゼミ(美術進学)	川邊真生	6単位 153時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>・制作サイクルの確立 まず作ってみることから始め、そこからテーマや方向性を発見し具体化していく。制作した作品を自分で鑑賞してそこから次の展開を考えていくが、制作のハードルを上げすぎの必要はない。考えすぎて手が止まるよりは気軽な思いつきで新作に挑んでほしい。</p> <p>・日本語による発表力の上達進学するにしても作家活動をするにしても、日本で活動する以上は日本語で自分の考えを発表する必要がある。また、作品制作では抽象的な内容も扱うため、常に自分の作品を発表できるように準備しておくこと。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>主に会話形式で作品やテーマについて掘り下げていく。もちろん集中して制作する時間が必要だが、授業内では自由に発言してほしい。作品と一見関係のないことであっても、日本語で好きなものや自分の生活、最近考えていることについてなんでも話せる時間にしたいと考えている。制作に関しては作品数を重視している。特に絵画であれば、素材や表現と自分を接続するためある程度の枚数を必要とするので、空いている時間があればデッサンやドローイングをする癖をつけてほしい。また、展覧会や読書、遊びなどを通して積極的に新しいものを取り入れる習慣を持つこと。自分の中にゼロからオリジナルが生まれるのではなく、外のことに対する反応として作品が発生する。その中で発見したものを授業中に教えてほしい。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	個別指導
2	個別指導	19	個別指導
3	個別指導	20	個別指導
4	個別指導	21	中間講評
5	個別指導	22	個別指導
6	個別指導	23	個別指導
7	中間講評	24	個別指導
8	個別指導	25	個別指導
9	個別指導	～30	個別指導
10	個別指導	～35	個別指導
11	個別指導	～40	個別指導
12	個別指導	～45	個別指導
13	中間講評	～50	個別指導
14	個別指導	51	最終講評会
15	個別指導		
16	個別指導		
17	個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1992年青森県生まれ。2016年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻首席卒業。2018年同大学大学院博士前期課程美術研究科絵画専攻油画研究領域修了。千代田美術指導学院で留学生を対象とした美術講師として勤務する傍ら、作品を制作する。主に東京で個展・グループ展を行う。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 絵画専攻分野・前期／ 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画総合研究(美術進学)	室井公美子 工藤礼二郎	10単位 255時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
・希望進学先の大学および大学院受験のためのポートフォリオや面接試験時の持参作品のための作品制作			
<b>【講義概要】</b>			
各自の研究テーマに基づいた作品制作			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	個別指導
2	個別指導	19	個別指導
3	個別指導	～20	個別指導
4	個別指導	～25	個別指導
5	個別指導	～30	個別指導
6	個別指導	～35	個別指導
7	中間講評	～40	個別指導
8	個別指導	～45	個別指導
9	個別指導	～50	個別指導
10	個別指導	～55	個別指導
11	個別指導	～60	個別指導
12	個別指導	～65	個別指導
13	中間講評	～70	個別指導
14	個別指導	～75	個別指導
15	個別指導	～80	個別指導
16	個別指導	～85	最終講評会
17	個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー一現、ギャラリーエ アンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p> <p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシッパ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	シルクスクリーン(美術進学 版画)	東樋口徹	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品(18×25cm位)を1点、5版以上を使った作品(25×38cm位)を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品(A4/21cm×29.7cm)を一点(紙4枚程度)、5版以上を使った作品(A3/29.7cm×42cm)を一点(紙8枚程度)制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・技法説明		
2	技法説明(PCを使用した4色分解)		
3	製版説明		
4	刷り方説明		
5	制作		
6	色々な刷り方説明		
7	制作		
8	制作チェック		
9	制作		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞(三極)、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL 優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。(社)日本版画協会会員。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版画(美術進学 版画)	馬場知子	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。			
<b>【講義概要】</b>			
まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。(わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	説明 小作品(テストプレート)制作		
2	説明 小作品制作		
3	小作品制作 本作品準備説明		
4	小作品制作 本制作準備		
5	本制作準備(エスキースを仕上げる)		
6	エスキースチェック、本制作スタート		
7	本制作 (描画、腐蝕)		
8	本制作 (描画、腐蝕)		
9	本制作 (描画、腐蝕)		
10	本制作 (描画、腐蝕)		
11	本制作 (描画、腐蝕)		
12	本制作 (描画、腐蝕)		
13	本制作(試し刷り)		
14	本制作(試し刷り)		
15	本制作 (本刷り)		
16	本制作 (本刷り)		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(畦地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	木版画(美術進学 版画)	鈴木吐志哉	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>1年次の「専攻別ワークショップ(版画専攻)」で体験した水性木版画1版単色をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。・版木サイズ300×225mm(4～5版多色)</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>水性多色木版画の作品の制作および基本技術と技法の展開。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	木版画について		
2	木版画下図準備		
3	トレースについて		
4	様々な彫り		
5	彫版		
6	彫版		
7	様々な摺り 一摺り方による効果一		
8	彫版～試摺り		
9	和紙の話、彫版～試摺り		
10	彫版～試摺り		
11	彫版～試摺り		
12	様々な摺り 一摺り方による作品の展開一		
13	彫版～試摺り		
14	再彫版		
15	彫版～本摺り		
16	彫版～本摺り		
17	制作～講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。          1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス          アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版          画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G          RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。          版画学会会員。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リトグラフ(美術進学 版画)	中村真理	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。			
<b>【講義概要】</b>			
リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。			
<b>回</b>	<b>授業計画及び学習の内容</b>		
1	オリエンテーション、下絵制作		
2	描画の進め方、見当の説明、製版のデモ		
3	刷りのデモ、版の準備		
4	描画		
5	描画		
6	描画		
7	描画		
8	描画		
9	紙の準備(いづみ)		
10	白黒1版の製版(全員)		
11	白黒1版刷り(全員)、片付け、鑑賞、		
12	描画		
13	描画		
14	ベタ版のデモ、描画		
15	製版、刷り		
16	製版、刷り		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞(社)日本版画協会会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部(1年制)	2025年度	美術進学 版画専攻分野・前期／ 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミ(美術進学)	植田 爽介	4単位 102時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>版画という技法についての基礎的な知識や拡がりを軸に、「自分にとって版画とは、そして表現とは何か」を考え、追求していくことを目標とします。時には課外学習として現代版画や現代美術について様々な作品を鑑賞し、作品が持つ魅力やコンセプトを幅広く知る術を養っていきます。また受験だけでなく、個々人が卒業後もどのように社会に対してアプローチしていくかを考えながら、生活アイデア制作活動に対してさらなる思考を深めていきます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>自己の特性やこだわりを見つめ直す。他者の作品を鑑賞する。また時に社会の動きを注視してみる。それらを通して自身の表現や作品をより深く理解し、可能性を拓けることを目的に、個々の作品のアップデートとプレゼンテーションを行う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
2	制作、個別指導	19	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
3	制作、個別指導	20	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
4	制作、個別指導	21	制作、個別指導、面接対策
5	制作、個別指導、発表会	22	制作、個別指導、面接対策
6	制作、個別指導	23	制作、個別指導、面接対策
7	制作、個別指導	24	制作、個別指導、面接対策
8	制作、個別指導、中間チェック	25	制作、個別指導、面接対策
9	制作、個別指導、ポートフォリオ指導	26	制作、個別指導、面接対策
10	制作、個別指導	27	制作、個別指導
11	制作、個別指導	28	制作、個別指導
12	制作、個別指導、発表会	29	制作、個別指導
13	制作、個別指導、発表会	30	制作、個別指導
14	制作、個別指導	31	制作、個別指導
15	制作、個別指導	32	制作、個別指導
16	制作、個別指導、中間チェック	33	制作、個別指導
17	制作、個別指導	34	最終発表会
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>2016年多摩美術大学絵画学科版画専攻卒業。2017年プラティスラヴァ美術大学版画専攻に交換留学。2019年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻版画第1研究室修了。 以降版画だけでなく立体、インスタレーションなど幅広い表現を用いて個展、グループ展に多数参加。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 版画専攻分野・前期 ／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究(美術進学)	鈴木吐志哉	4単位 102時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
・希望進学先の大学および大学院受験のためのポートフォリオや面接試験時の持参作品のための作品制作			
<b>【講義概要】</b>			
各自の研究テーマに基づいた作品制作			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	個別指導
2	個別指導	19	個別指導
3	個別指導	20	個別指導
4	個別指導	21	個別指導
5	個別指導	22	個別指導
6	個別指導	23	個別指導
7	中間講評	24	個別指導
8	個別指導	25	個別指導
9	個別指導	26	個別指導
10	個別指導	27	個別指導
11	個別指導	28	個別指導
12	個別指導	29	個別指導
13	中間講評	30	個別指導
14	個別指導	31	個別指導
15	個別指導	32	個別指導
16	個別指導	33	個別指導
17	個別指導	34	最終講評会
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版 画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。 版画学会会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学課程VD・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミA(美術進学VD)	都築 潤	3単位 76.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマと制作テーマの確立</li> <li>・テーマポートフォリオの制作</li> <li>・テーマプレゼン用資料の作成</li> <li>・日本語プレゼンテーションの習得</li> </ul>			
<b>【講義概要】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定テーマに則したディレクション・プランニング課題</li> <li>・ディレクション・プランニング課題を基にした個別制作</li> <li>・個別制作のメディア選択(モーション／イメージメイキングetc)</li> <li>・日本語コミュニケーションの練習</li> </ul>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、個別指導	18	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
2	制作、個別指導	19	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
3	制作、個別指導	20	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
4	制作、個別指導	21	制作、個別指導、面接対策
5	制作、個別指導、発表会	22	制作、個別指導、面接対策
6	制作、個別指導	23	制作、個別指導、面接対策
7	制作、個別指導	24	制作、個別指導
8	制作、個別指導、中間チェック	25	制作、個別指導
9	制作、個別指導、ポートフォリオ指導	26	最終発表会
10	制作、個別指導		
11	制作、個別指導		
12	制作、個別指導、発表会		
13	制作、個別指導、発表会		
14	制作、個別指導		
15	制作、個別指導		
16	制作、個別指導、中間チェック		
17	制作、個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 VD・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミB(美術進学VD)	関根慎一	3単位 76.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>①これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書の作成と受験用ポートフォリオの充実を目指した40点以上の作品を制作する事。                  ②研究計画書を完成する事。                  ③受験用ポートフォリオを完成する事。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>研究テーマについての確認・助言、及び研究テーマに沿った作品と課題の制作。                  それらをまとめたポートフォリオの制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、個別指導	18	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
2	制作、個別指導	19	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
3	制作、個別指導	20	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
4	制作、個別指導	21	制作、個別指導、面接対策
5	制作、個別指導、発表会	22	制作、個別指導、面接対策
6	制作、個別指導	23	制作、個別指導、面接対策
7	制作、個別指導	24	制作、個別指導
8	制作、個別指導、中間チェック	25	制作、個別指導
9	制作、個別指導、ポートフォリオ指導	26	最終発表会
10	制作、個別指導		
11	制作、個別指導		
12	制作、個別指導、発表会		
13	制作、個別指導、発表会		
14	制作、個別指導		
15	制作、個別指導		
16	制作、個別指導、中間チェック		
17	制作、個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。                  なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。                  合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>関根慎一:1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD                  デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、                  カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 VD・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミC(美術進学VD)	上野仁志	3単位 76.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
各自の「研究テーマ」を構築し進化する。または、「新たな研究テーマ」の探求・構築・進化する。			
<b>【講義概要】</b>			
「発想力を探る」「クリエイターに求められる力」等の講義を実施。 「研究テーマ」「新たな研究テーマ」を示す制作物を求め、アドバイスを実施する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、個別指導	18	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
2	制作、個別指導	19	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
3	制作、個別指導	20	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
4	制作、個別指導	21	制作、個別指導、面接対策
5	制作、個別指導、発表会	22	制作、個別指導、面接対策
6	制作、個別指導	23	制作、個別指導、面接対策
7	制作、個別指導	24	制作、個別指導
8	制作、個別指導、中間チェック	25	制作、個別指導
9	制作、個別指導、ポートフォリオ指導	26	最終発表会
10	制作、個別指導		
11	制作、個別指導		
12	制作、個別指導、発表会		
13	制作、個別指導、発表会		
14	制作、個別指導		
15	制作、個別指導		
16	制作、個別指導、中間チェック		
17	制作、個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
上野仁志:1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2025年度	美術進学 VD・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究(美術進学VD)	都築 潤 関根 慎一 上野 仁志	7単位 178.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
合同ゼミおよび、希望進学先の大学や大学院受験のためのポートフォリオ、面接試験時の持参作品のための作品制作			
<b>【講義概要】</b>			
合同ゼミおよび、各自の研究テーマに基づいた作品制作			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作、個別指導
2	制作、個別指導	19	制作、個別指導
3	制作、個別指導	20	制作、個別指導
4	制作、個別指導	～25	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
5	制作、個別指導、合同発表会	～30	制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	制作、個別指導	～35	制作、個別指導、面接対策
7	制作、個別指導	～40	制作、個別指導、面接対策
8	制作、個別指導、中間チェック	～45	制作、個別指導、面接対策
9	制作、個別指導、ポートフォリオ指導	～50	制作、個別指導
10	制作、個別指導	～55	制作、個別指導
11	制作、個別指導	～60	最終合同発表会
12	制作、個別指導、合同発表会		
13	制作、個別指導、合同発表会		
14	制作、個別指導		
15	制作、個別指導		
16	制作、個別指導、中間チェック		
17	制作、個別指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>都築 潤:1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパンフィック広告祭、その他で受賞。</p> <p>関根慎一:1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。</p> <p>上野仁志:1960年生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			